

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
(仮称)小町ビル新築工事

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.7
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境		3.1	0.15					3.1
1.1 騒音		3.0	0.40					
1 暗騒音レベル		3.0	1.00					
1.2 遮音		3.4	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能	Dr-40程度	4.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
2 温熱環境		2.7	0.35					2.7
2.1 室温制御		3.2	0.50					
1 室温設定		3.0	0.38					
2 室温制御の連動制御性								
3 外皮性能	屋光率計算0.42	4.0	0.25					
4 ソーン別制御性		3.0	0.38					
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0				
3 光・視環境		2.7	0.25					2.7
3.1 屋光利用		1.8	0.30					
1 屋光率		1.0	0.60	3.0				
2 方位別開口				3.0				
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0				
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
2 屋光制御		3.0	1.00	3.0				
3.3 照度		4.0	0.15					
1 照度	事務室750lx	4.0	1.00	3.0				
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0				
4 空気環境		3.5	0.25					3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用	4.0	1.00	3.0				
2 アスベスト対策								
3 タンカヒ等								
4 レンオネラ対策								
4.2 換気		1.6	0.30					
1 換気量		3.0	0.33	3.0				
2 自然換気性能		1.0	0.33	3.0				
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0				
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					3.0
1 機能性		2.4	0.40					2.4
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.57					
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0				
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0				
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		2.6	0.43					
1 広さ感・景観	事務室天井高2.7m	4.0	0.33	3.0				
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理								
1 維持管理に配慮した設計								
2 維持管理用機能の確保								
2 耐用性・信頼性		3.3	0.31					3.3
2.1 耐震・免震		3.0	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.9	0.33					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	アクリルシリコン塗装→耐用年数30年	5.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット→20年、内壁:ビニルクロス→20年、天井:岩綿吸音板→30年	5.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:塩ビライニング鋼管→B、排水:塩化ビニル管→B、冷媒管:ステンレス鋼管→C	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			3.0	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-
1	階高のゆとり	1F=4.35m、2.3F=4.05m、4F=3.95m →3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率計算より0.251	4.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制		外皮に断熱材を使用	4.0	0.30	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		LED照明採用 ERR=29.1	5.0	0.30	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.15	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロア	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.33	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		設備の高効率化	4.8	0.33	-	4.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-